

川越市観光アンケート調査報告書

2021年

【2021年1月～12月】

監修：川越市産業観光部観光課
作成：一般社団法人 DMO川越

目次

I 観光アンケート調査の統計・分析	1
1. 調査の趣旨	
2. 調査の概要	
3. 調査の結果	
(1) 出発地	2 (スマートフォン等の位置情報(GPS)に基づく)
(2) 性別	3
(3) 年齢	4
(4) 目的	5
(5) 認知方法	6
(6) 旅行形態	7
(7) 交通手段	8
(8) 来訪回数	9
(9) 滞在期間	10
(10) 観光時間	11 (スマートフォン等の位置情報(GPS)に基づく)
(11) 立ち寄り観光地	12
(12) 観光消費額	13
(13) 要望	16
(14) 満足度	17
II 資料編	
令和3年川越市入込観光客数の概要	18
令和3年川越市外国人入込観光客数の概要	19
2021年調査のまとめおよび分析	20

I 観光アンケート調査の統計・分析

1. 調査の趣旨

○観光アンケート調査は、インターネット経由の電子回答等の方法により観光客の来訪理由、交通手段、立ち寄り観光地、観光消費額などの基本的な動態を把握することを目的としている。

2. 調査の概要

○調査期間: 2021年(令和3年)1月から12月までの1年間

○調査方法: 株式会社Agoopの位置情報アンケートサービスを利用した電子回答

株式会社Agoopの位置情報データ(GPSデータ)による観光客の出発地及び観光時間の集計

○調査対象: 株式会社Agoopの位置情報アンケートサービス(Walkcoin)の利用者の内、2021年(令和3年)1月～12月の期間に観光目的で川越市に来訪したと回答した1,274名

○有効回答: 1,181名

※調査方法変更について

2020年(令和2年)調査は対面聞き取り調査を行っていたが、2021年(令和3年)調査からインターネット経由の電子回答に変更を行った。

3. 調査の結果

※構成比については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

※「R3」は令和3年、「R2」は令和2年を指します。

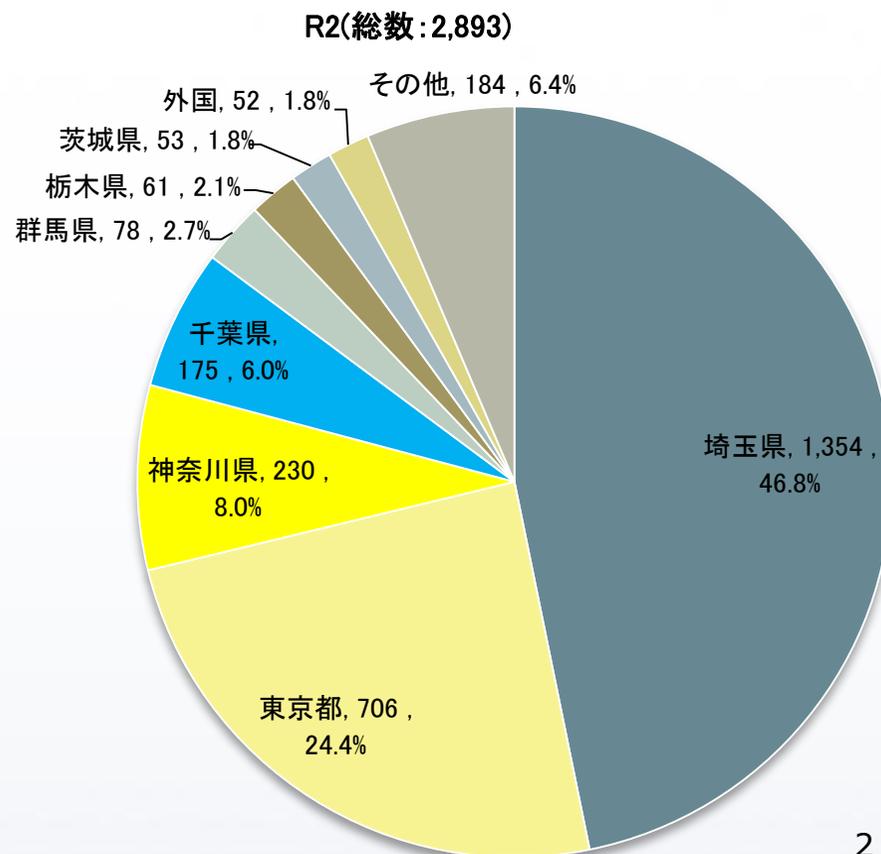
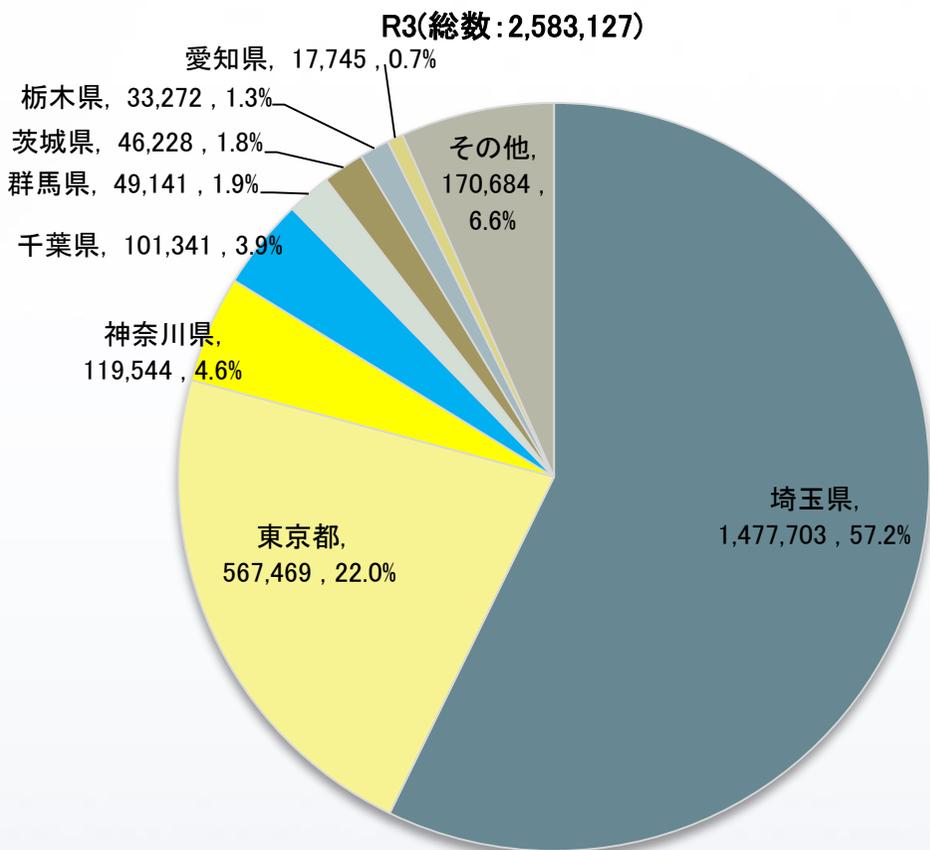
(1)出発地

■都道府県別カウント結果

○令和3年からスマートフォンの位置情報(GPS)を活用した集計方法に変更

○埼玉県内からの観光客の割合が令和2年より10%以上増加(46.8%→57.2%)

○新型コロナウイルス感染症拡大でマイクロツーリズムがさらに高まったと考えられる



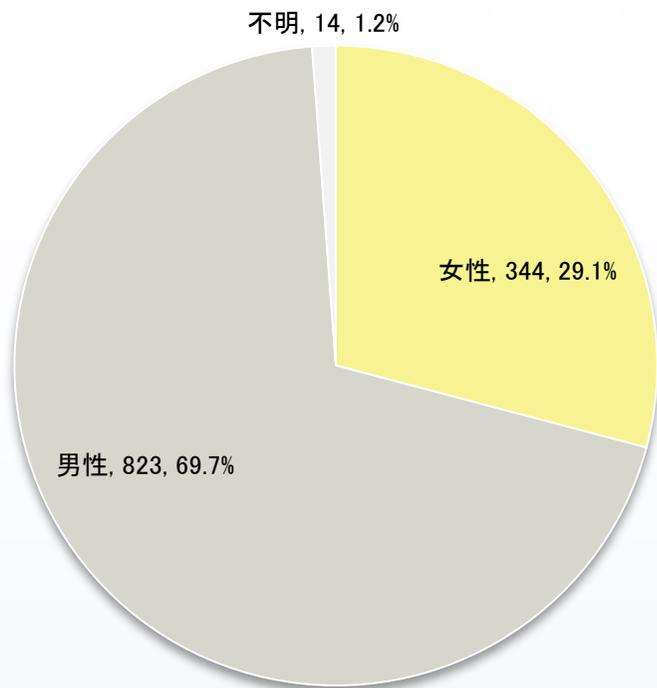
(2)性別

○女性: **344人 (29.1%)**

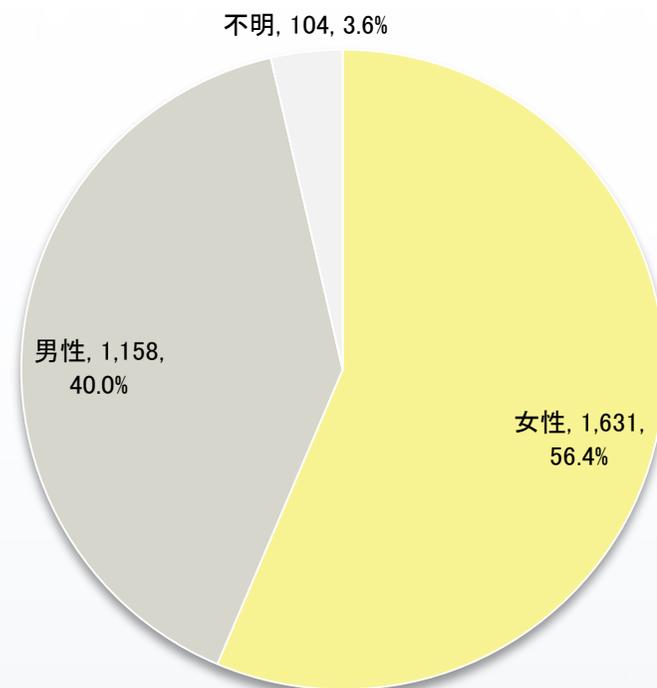
○男性: **823人 (69.7%)**

○例年女性が多いが、R2(男:女=1:1.4)に比べてR3は(男:女= 1:0.4)と女性比率が大幅に減少(データ収集の方法が変更されたので厳密な比較はできないことに留意)

R3(総数:1,181)



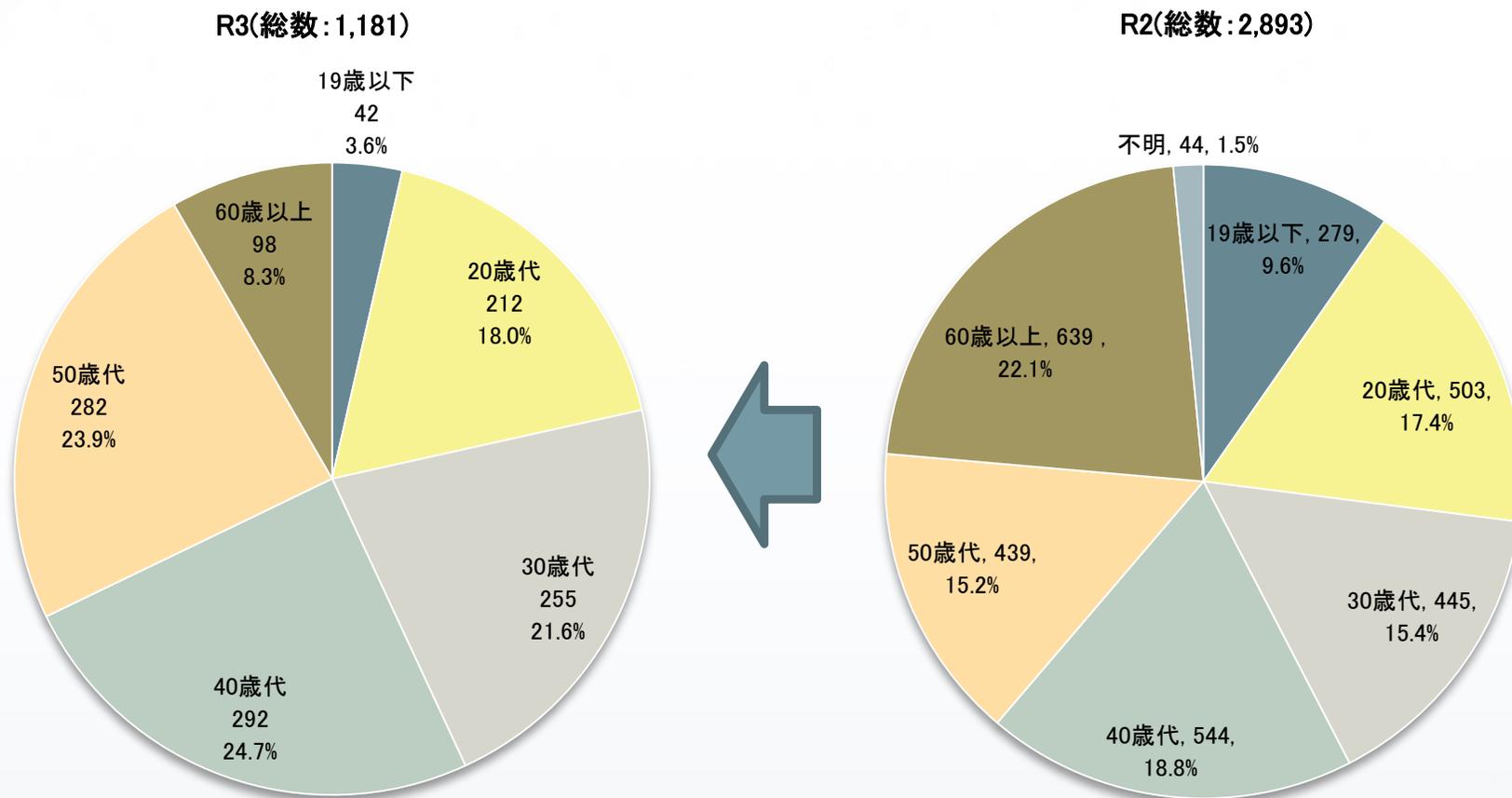
R2(総数:2,893)



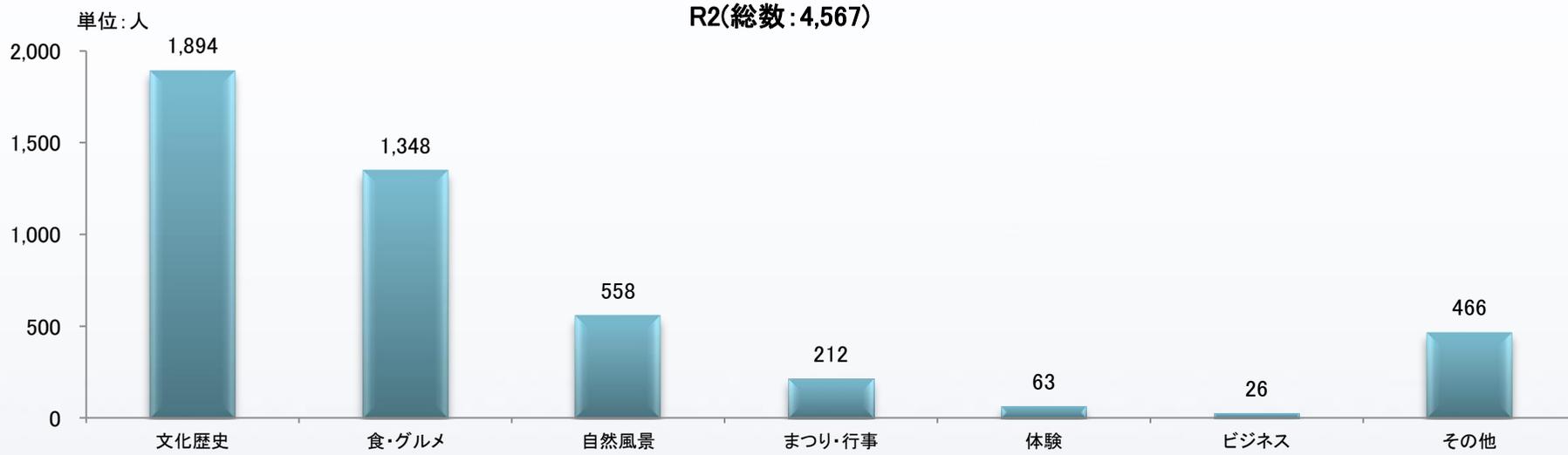
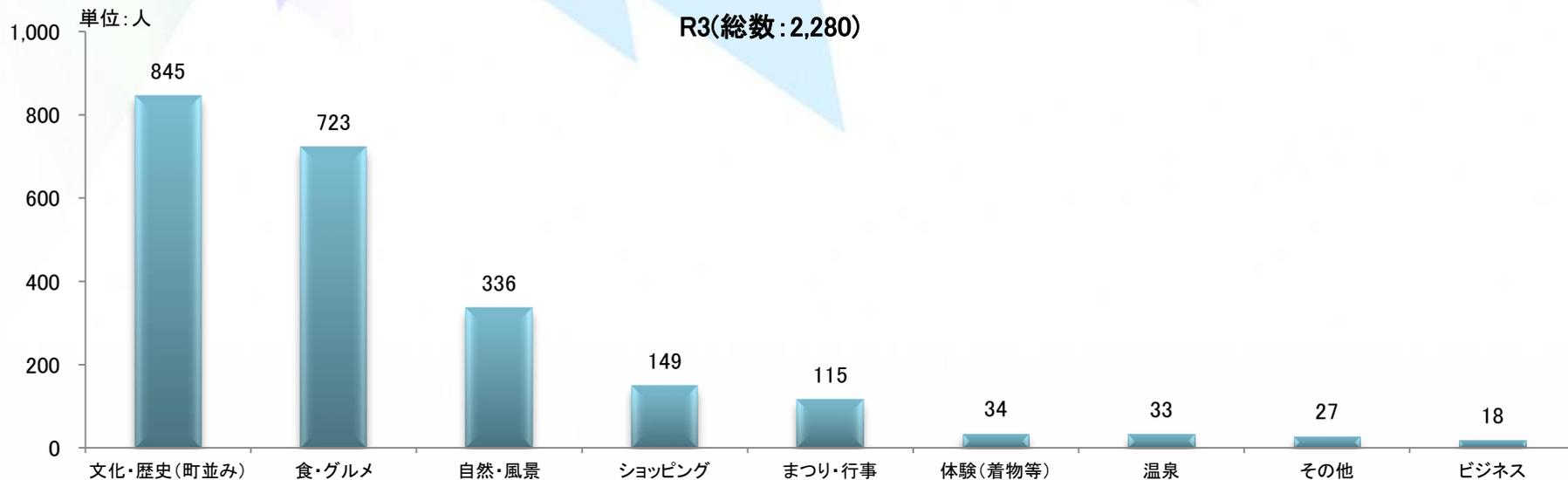
(3)年齢

○30～50歳代以上は増加、19歳以下、60歳以上は大きく減少

○新型コロナウイルス感染症拡大により、年齢の構成が変化した可能性がある



(4)目的(複数回答可)

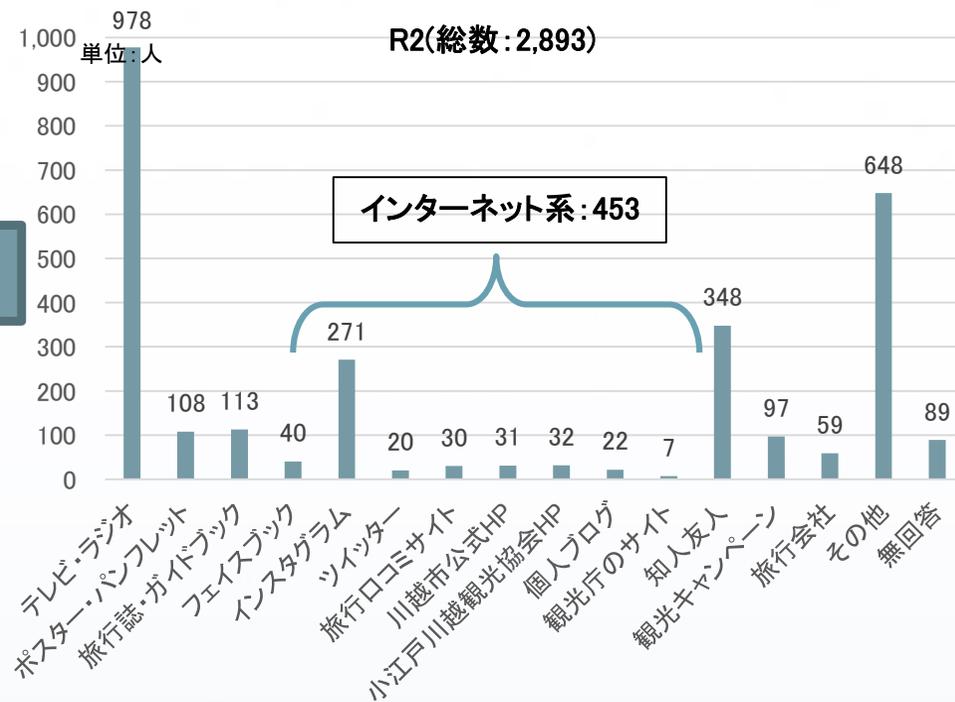
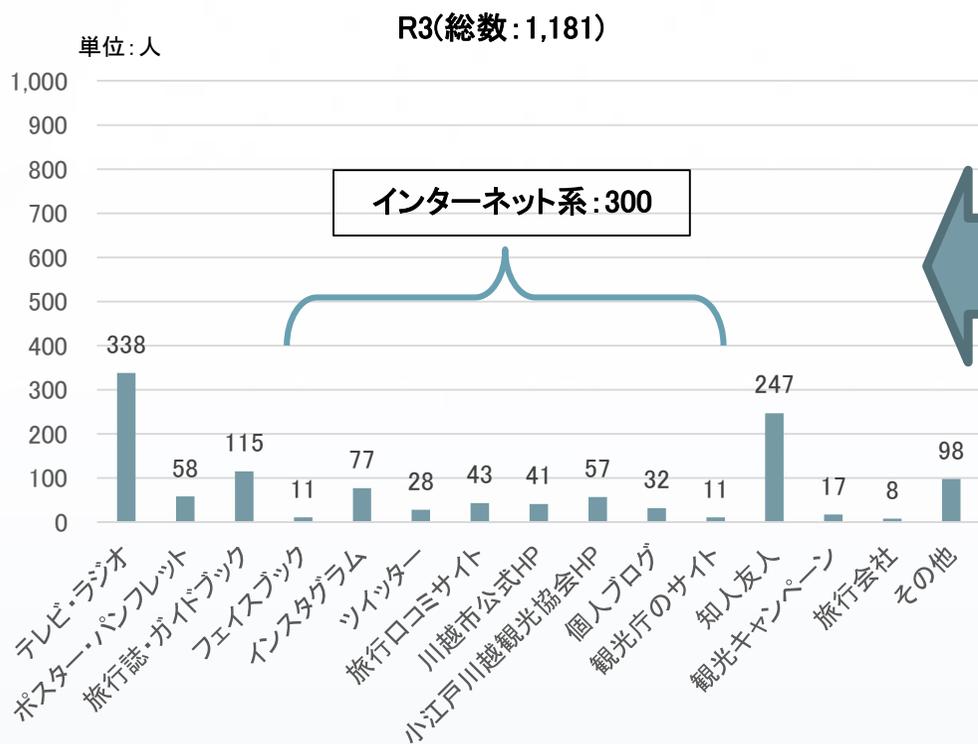


(5)認知方法

○テレビ・ラジオの割合が1位 **28.6%**

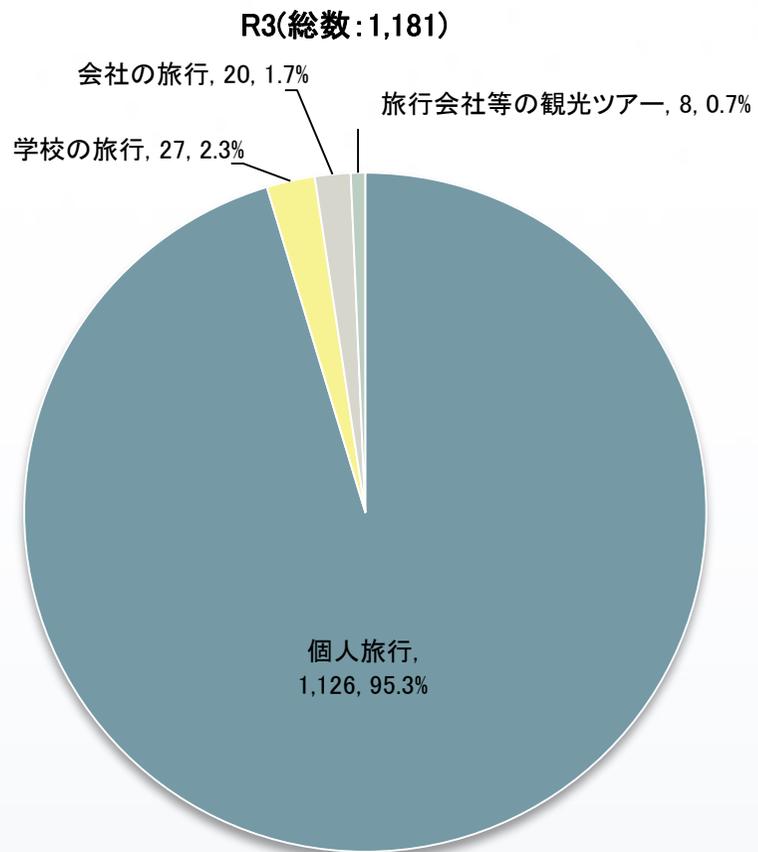
○インターネット系の割合は年々増加している **25.4%**(去年は**15.7%**)

○SNSについてはインスタグラムが最も多い



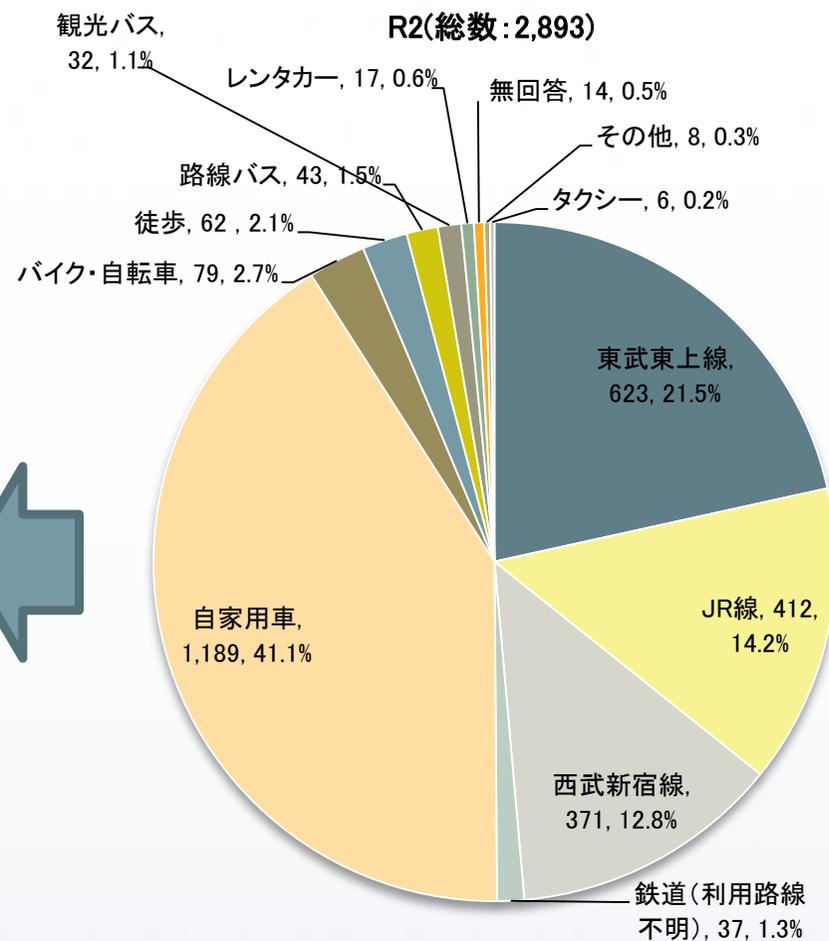
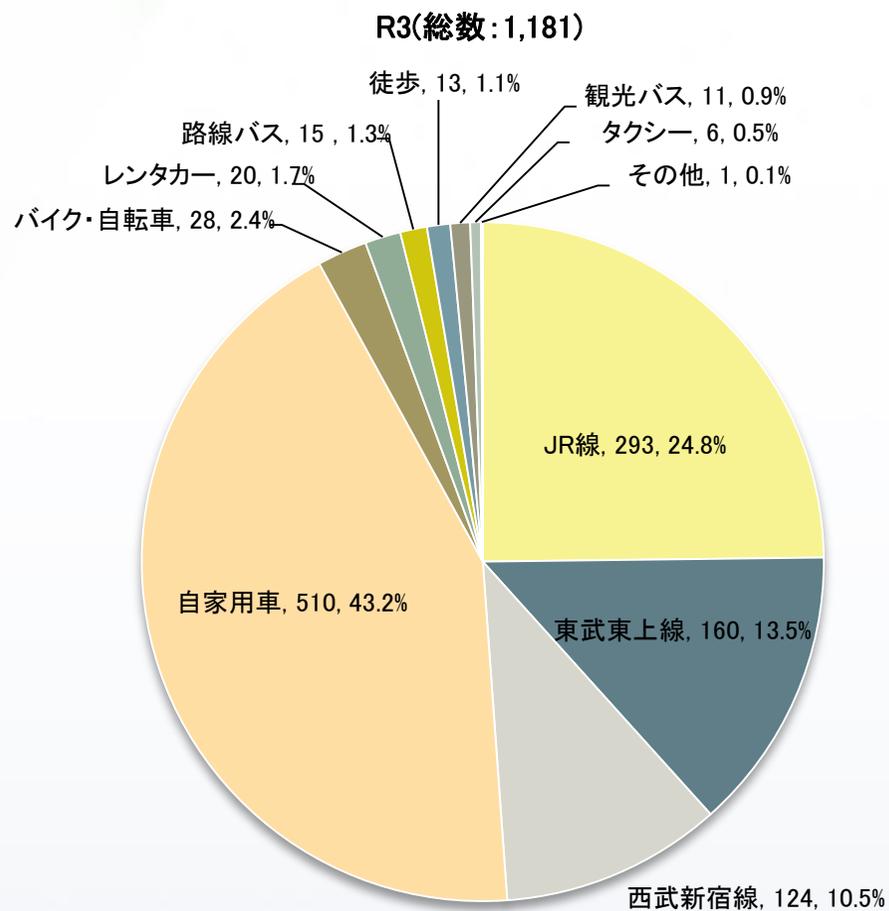
(6)旅行形態

- 令和3年からアンケート項目に追加
- ほとんど(95.3%)が個人旅行である



(7)川越までの交通手段

○鉄道48.9%と自家用車43.2%の利用がほとんど



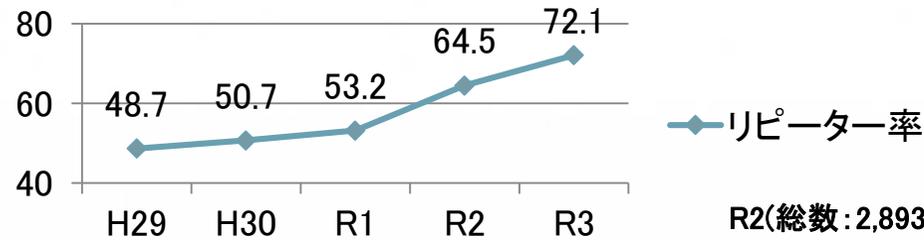
(8) 来訪回数

○リピーター（来訪回数2回以上）の割合は**72.1%**となり年々増加

○来訪4回以上が最も多い結果となった

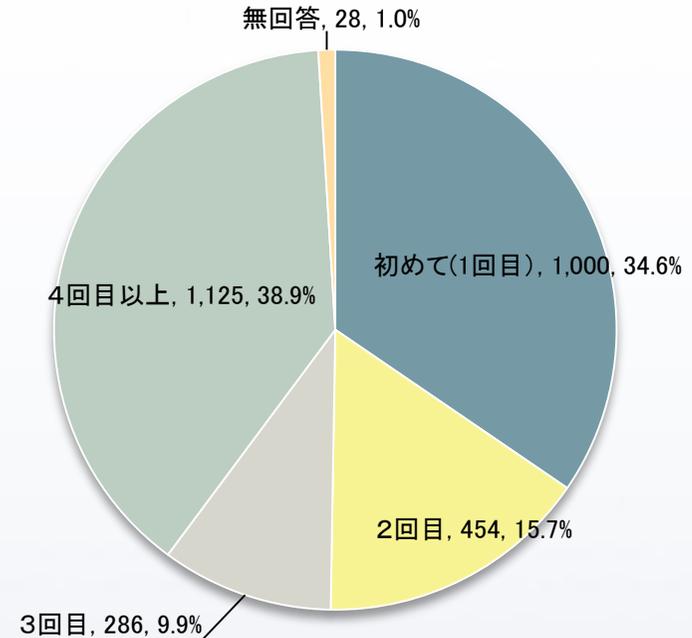
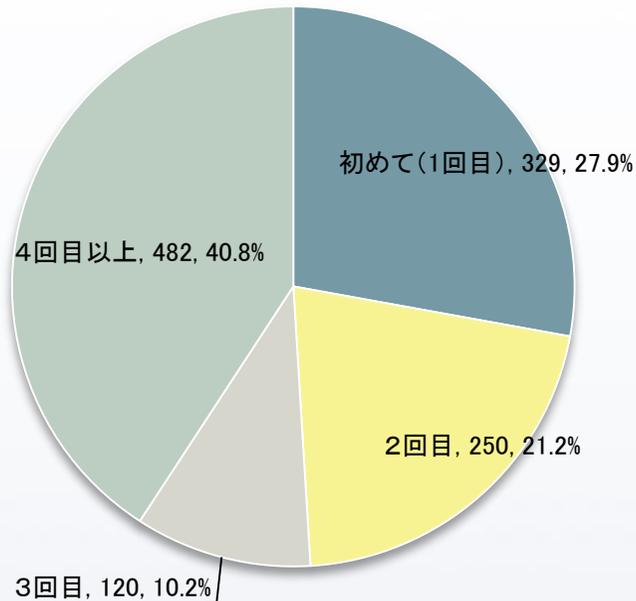
○新型コロナウイルス感染症拡大の影響で比較的近い範囲からの来訪者（マイクロツーリズム）が増えたためと考えられる

単位：%



R3(総数:1,181)

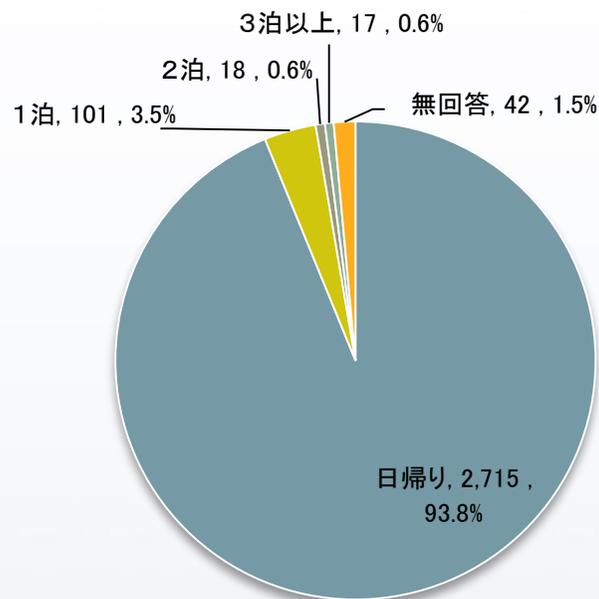
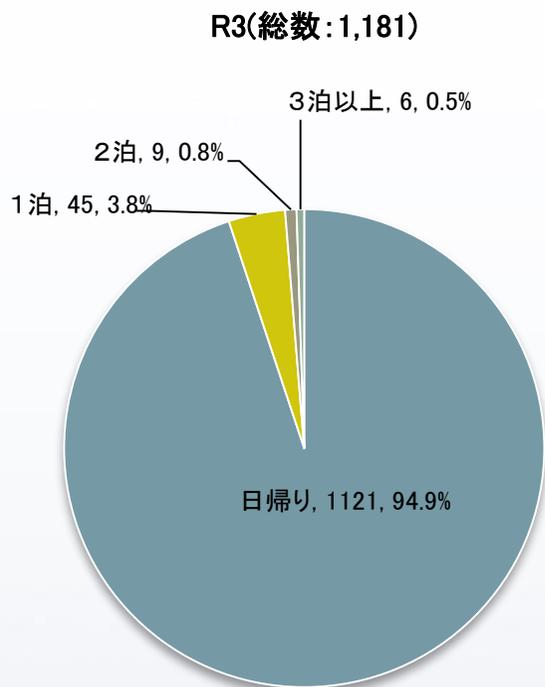
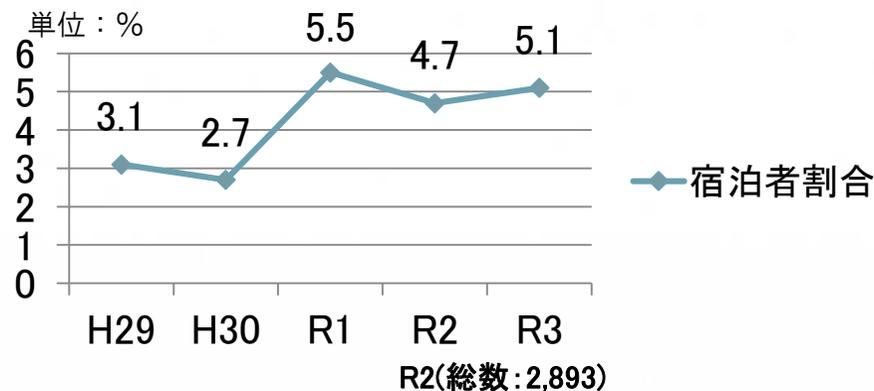
R2(総数:2,893)



(9)滞在期間

○日帰りの割合：**94.9%**（昨年：**93.8%**）

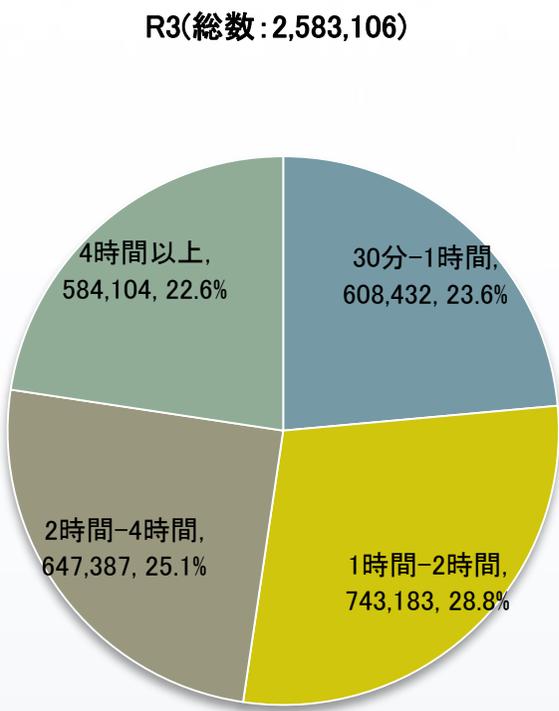
○宿泊者の割合：**5.1%**（昨年：**4.7%**）※宿泊者割合が増加



(10)観光時間

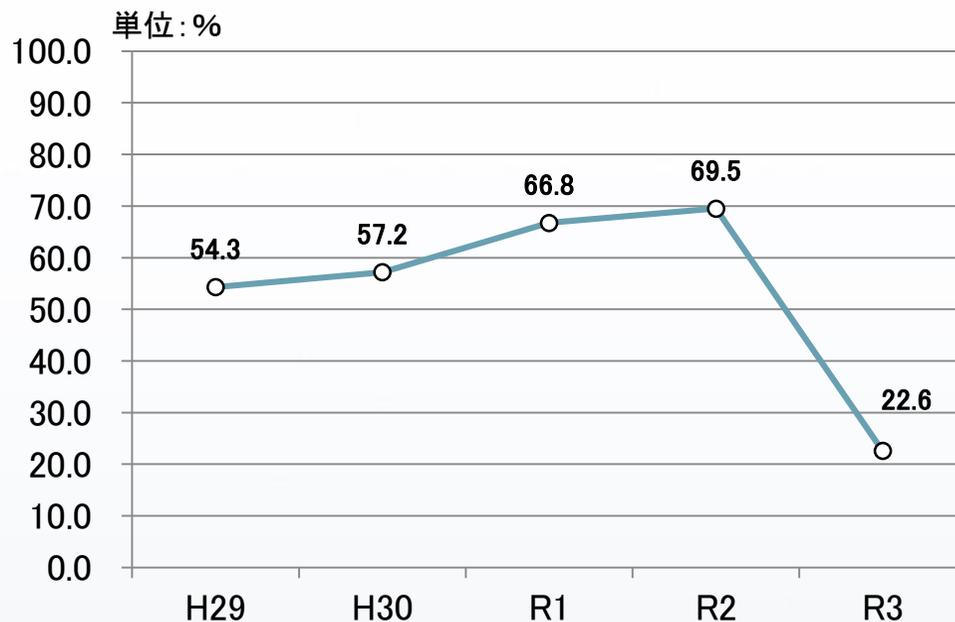
■滞在時間別カウント結果

- 令和3年からスマートフォン等の位置情報(GPS)を活用した集計方法に変更
- 一番街周辺、氷川神社周辺、喜多院周辺、伊佐沼周辺の4エリアに滞在した時間を調査



参考

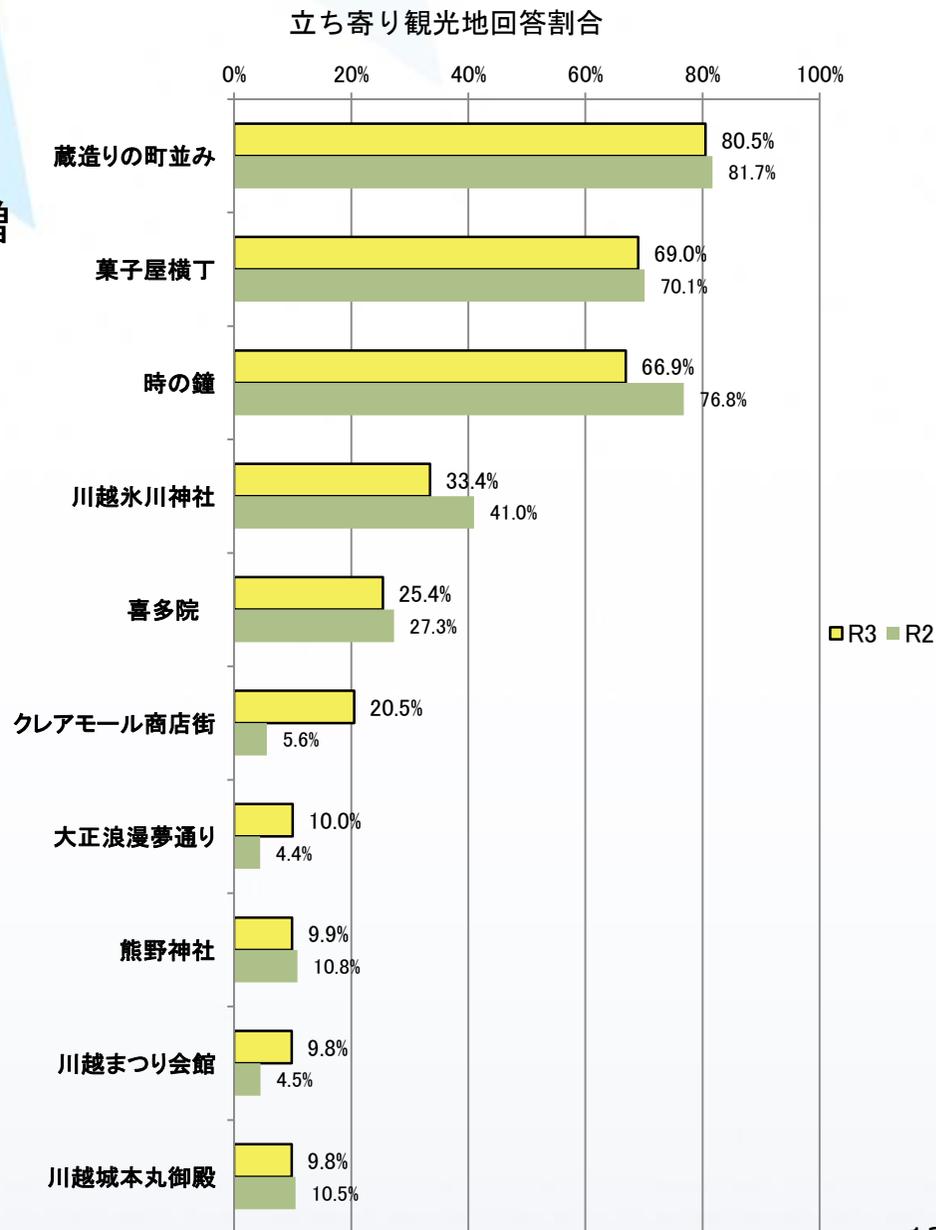
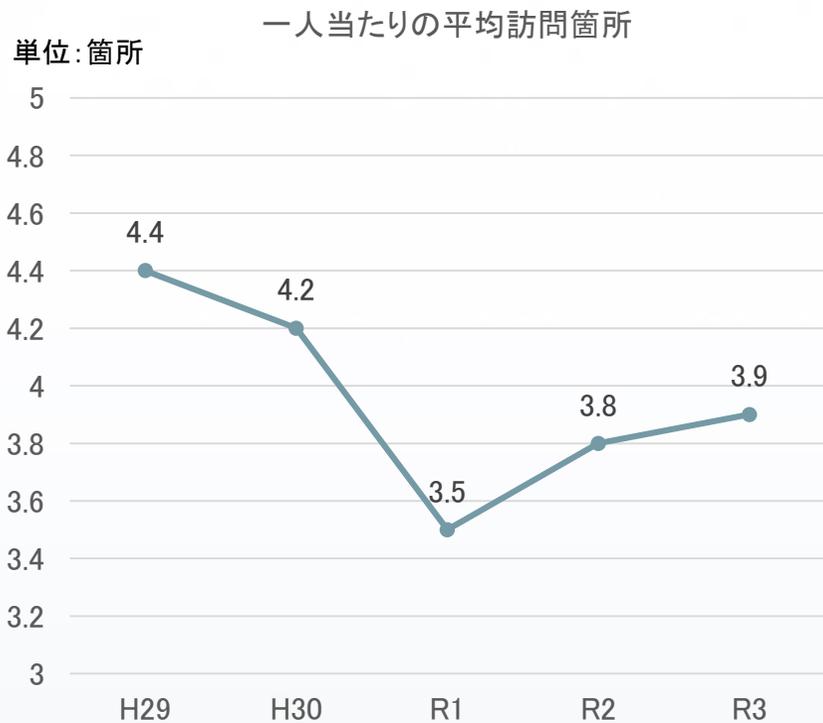
【半日以上(4時間以上)の観光客の割合の推移】



※調査方法の変更があり、R2以前とR3の単純比較はできない

(11) 立ち寄り観光地(複数回答)

- 立ち寄り場所が特定の場所に集中している
- 一人当たりの平均訪問箇所数は微増



(12) 観光消費額

【令和3年の消費項目別の平均観光消費額】

項目	調査人数 (0円消費を除く)	日帰り平均消費額	宿泊者平均消費額	平均消費額	去年の平均消費額
交通費	907人	1,683円	2,612円	1,729円	970円
宿泊費	54人	-	-	8,079円	8,457円
飲食費	1,112人	2,964円	5,677円	3,094円	2,357円
お土産品購入費	720人	2,050円	3,084円	2,105円	1,968円
入館料・入場料	230人	987円	788円	966円	509円
体験	36人	2,284円	2,500円	2,350円	3,726円
その他	76人	1,692円	7,000円	1,972円	3,556円
合計	1,181人	5,652円	11,312円	6,280円	4,034円



【観光消費額 項目別】 各項目について1円以上消費した人のみで平均消費額を算出

■川越市内での交通費

- 一人あたり平均交通費 **1,729円**
- 全有効回答数1,181人に対する
支出した人の割合 76.8%

■入館料・入場料

- 一人あたり平均入館料・入場料 **966円**
- 全有効回答数1,181人に対する
支出した人の割合 19.5%

■川越市内での宿泊費

- 一人あたり平均宿泊費 **8,079円**
- 全有効回答数1,181人に対する
支出した人の割合 4.6%

■お土産品購入費

- 一人あたり平均お土産品購入費 **2,105円**
- 全有効回答数1,181人に対する
支出した人の割合 61.0%

■飲食費

- 一人あたり平均飲食費 **3,094円**
- 【飲食費の内訳】
- 平均飲食費(朝) **918円**
- 平均飲食費(昼) **1,725円**
- 平均飲食費(夜) **2,687円**
- 平均軽食費 **961円**
- 全有効回答数1,181人に対する
支出した人の割合 朝8.0% 昼83.8% 夜25.2%
軽食74.4%

■体験

- 一人あたり平均体験料(レンタル着物等) **2,350円**
- 全有効回答数1,181人に対する
支出した人の割合 3.0%

【経済効果試算の推移】

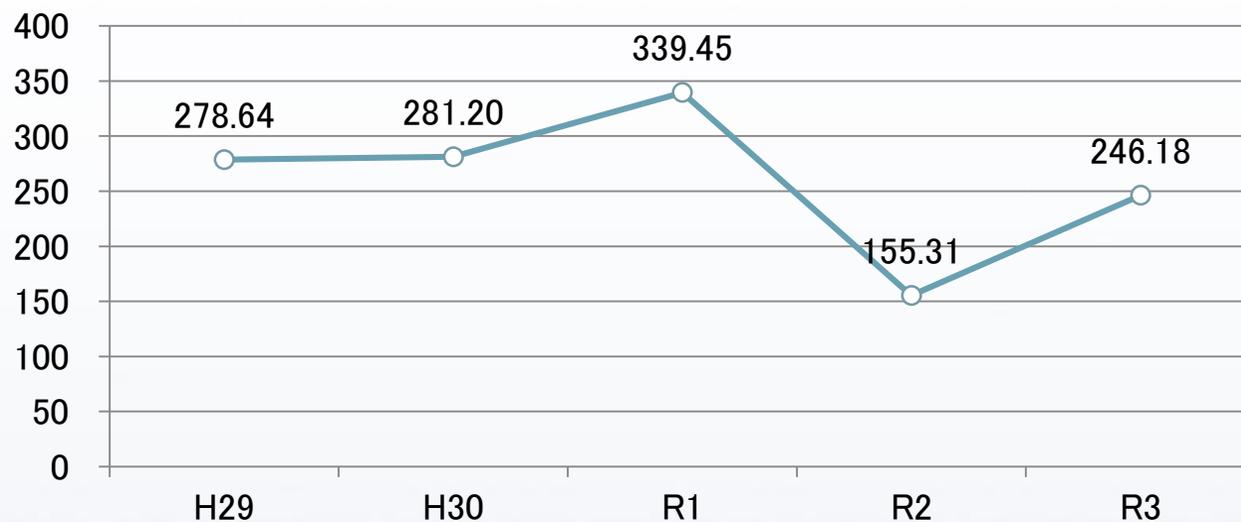
○令和3年の観光消費総額は

246.18億円

(平均消費額6,280円 × 入込観光客数3,920,000人)

【観光消費総額の推移】

単位:億円



※調査方法の変更があり単純な比較はできない

(13) 要望

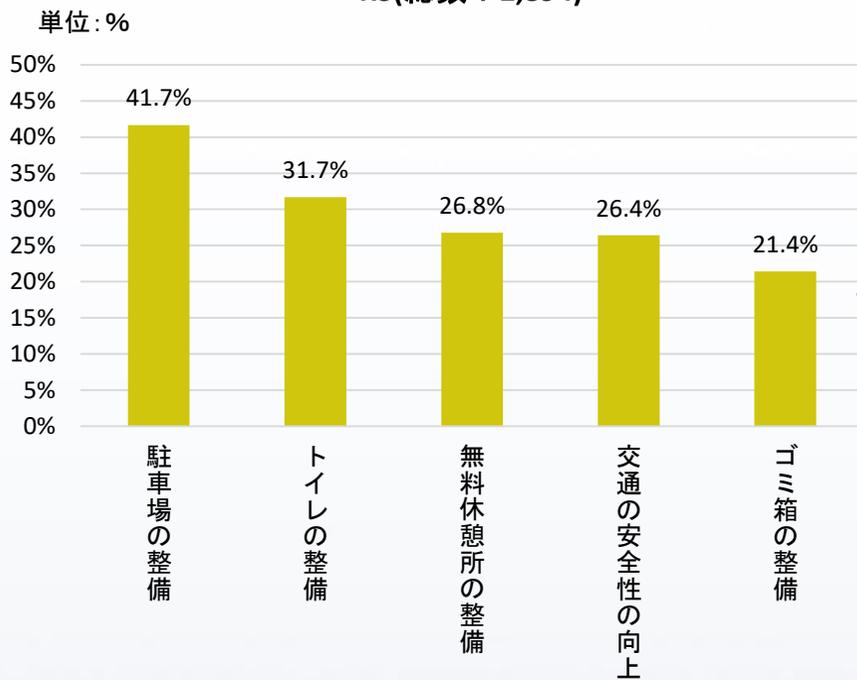
○1位は**駐車場の整備(17.0%)**

○2位は「トイレの整備」(12.9%)

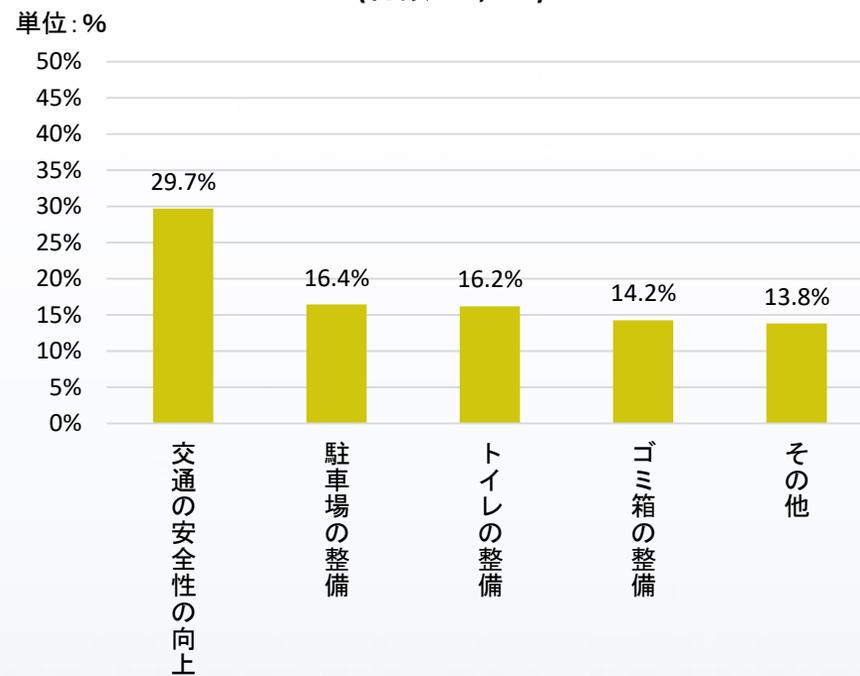
○3位は「無料休憩所の整備」(10.9%)

【観光客からの要望】複数回答あり

R3(総数 : 2,894)

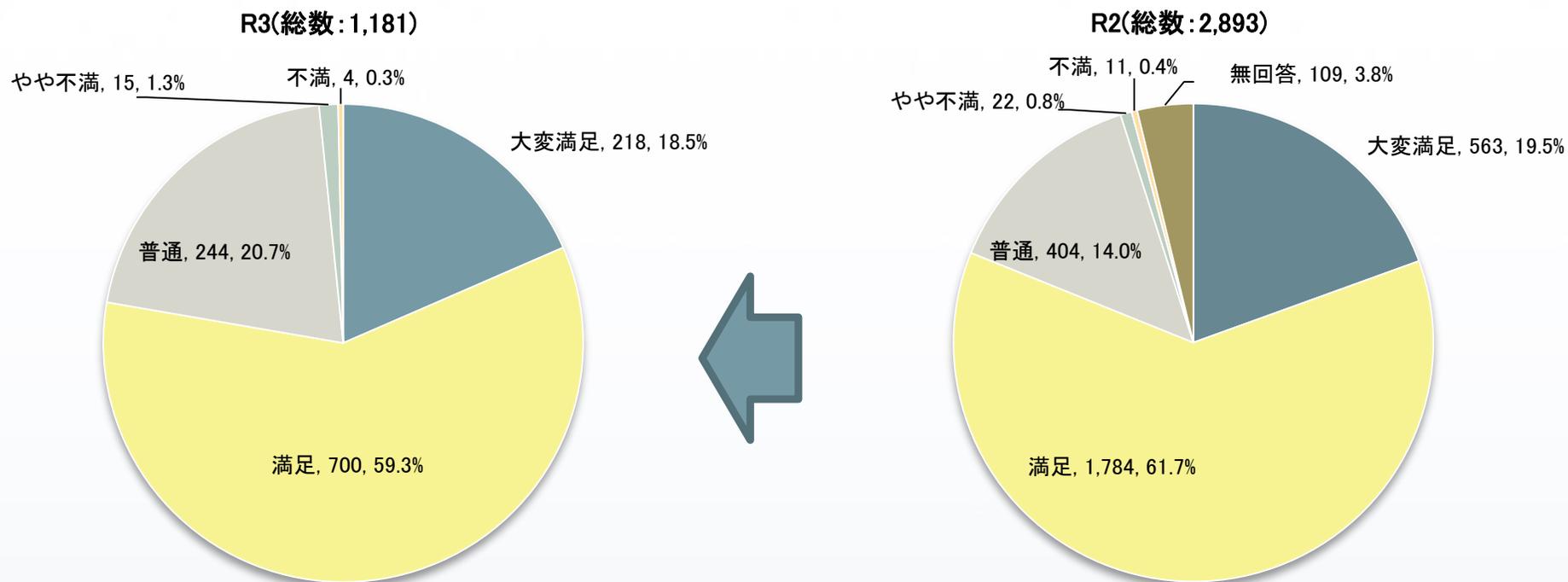


R2(総数 : 3,420)



(14) 満足度

○「満足」以上の回答が78%で昨年の81%から3ポイント減少



資料編 令和3年川越市入込観光客数の概要

○入込観光客数：**392万人**

○新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛要請のため前年と同様になった

埼玉県の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の推移

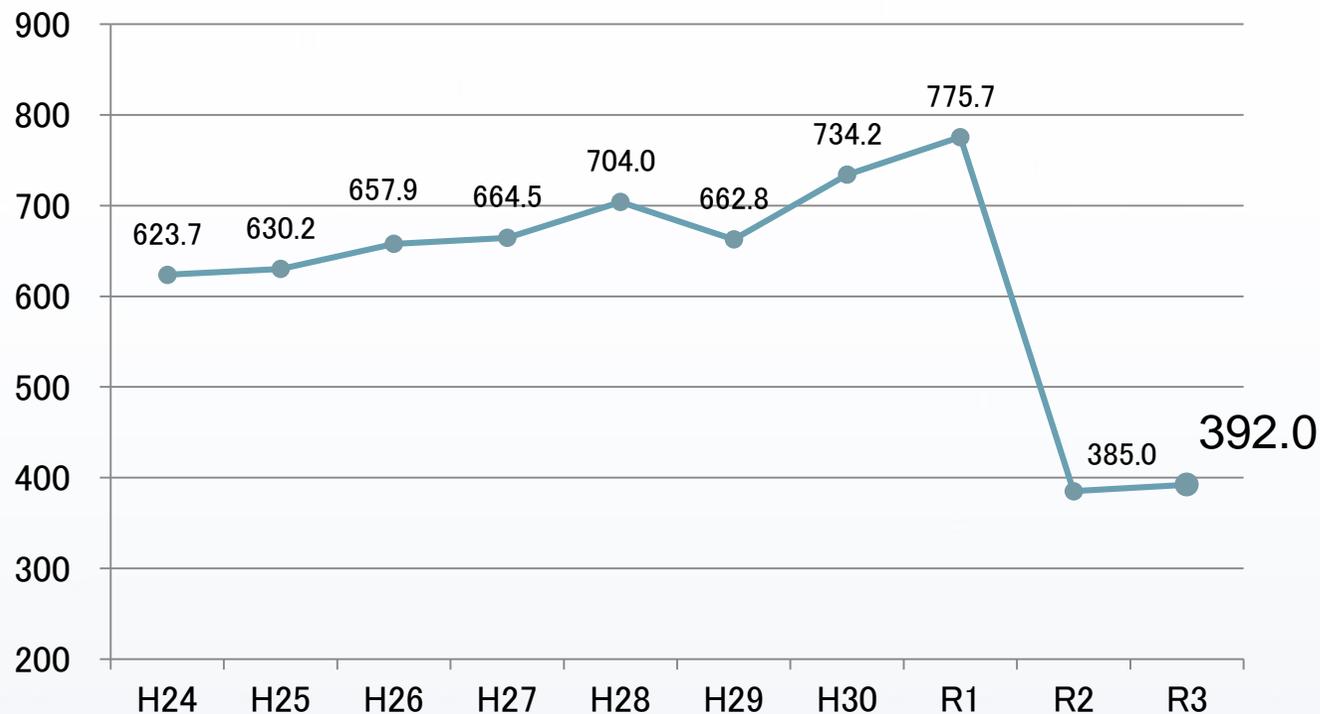
緊急事態宣言(2回目) 1月8日～3月21日

まん延防止等重点措置 4月20日～8月1日

緊急事態宣言(3回目) 8月2日～9月30日

単位:万人

過去10年間の川越市入込観光客数

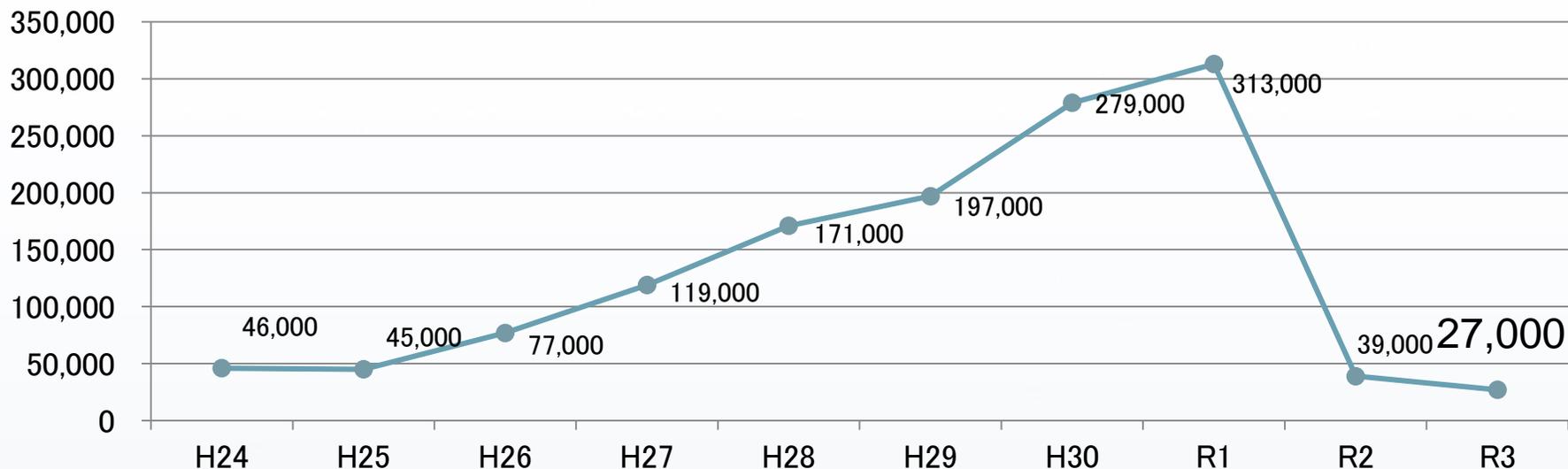


資料編 令和3年川越市外国人入込観光客数の概要

- 外国人観光客数: **2万7千人**
- 令和元年まで順調に増加してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により約1/10に減少
- 年間を通して外国人観光客の入国制限が掛かっていたため、国内在住の外国人観光客と推測

過去10年間の川越市外国人入込観光客数

単位：人



2021年調査のまとめおよび分析

<2021年の入込観光客数調査について>

2021年の調査は、2020年までの調査方法と大きく変更されている。2020年までは人の手を介したアナログな手法により人流のカウントを行っていたが、2021年は本市への来訪客が利用するスマートフォン等の位置情報データを使用して解析する、いわゆるデジタル化したものであり、データそのものも、推計方法も異なっている。

そのため、本年度の調査については、経年変化を見ることが難しいことを理解した上で利用することが望ましい。

<2021年の入込観光客の特徴>

(1)2020年から引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発令され、その影響により、本市への入込観光客数は大きく落ち込んでいる。総数としては392万人で、新型コロナウイルス感染症流行前の1/2程度と大幅に減少している。今後の大きな伸びが期待された外国人入込観光客数についても、国による入国制限の措置により観光目的での入国者が皆無に等しい状態となったため、2019年の313,000人から2021年には27,000人となり、新型コロナウイルス感染症流行前に比べて1/10以下に激減している。

(2)来訪者は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響と思われるが、マイクロツーリズムの傾向がより顕著になり、埼玉県内(57%)と東京都(22%)を合わせると80%にも達する。

(3)来訪者の年齢層については、全年齢層に均等に分散しており、老若男女が楽しめる観光地としての特性が現れている。観光目的では、引き続き、「文化・歴史(町並み)」や「食・グルメ」などが高く、川越市の観光の強みになっていると考えられる。また、旅行形態は個人旅行がほぼ全て(95.3%)を占めている。

(4)認知方法では、「テレビ・ラジオ」が1位であるが、前年比で大きく減少している。続いて、「インターネット系」と「知人友人」は前年と比較して大きく伸びている。コロナ禍により「観光キャンペーン」がほとんど無かったことを考慮すると依然として「ポスター・パンフレット」、「旅行誌・ガイドブック」、「観光キャンペーン」なども重要な認知方法であると考えられる。

(5)川越までの交通手段では、鉄道(48.9%)と自家用車(43.2%)の利用が多くを占めている。自家用車の利用が多いことは、アンケートによる要望調査で「駐車場の整備」が最も多かったことへの裏付けになっているものと考えられる。しかしながら「駐車場の整備」は交通渋滞や交通安全上の課題があることから、交通対策も考慮した形で要望に対応していく必要がある。

(6)来訪回数については、「初めて」と答えた者が3割以下(27.9%)で、「4回以上」が最も多い(40.8%)。2回以上来訪しているリピーターは72.1%であり、リピーターが多く訪れる、好ましい姿を実現していると考えられる。

(7)日帰り(94.9%)と宿泊(5.1%)の比率には20倍近くの開きがあり、圧倒的に日帰り観光客が多いという現状である。伸びしろが大きい夜間のナイトタイムエコノミーを増やしていくには、質の高い夜間のアクティビティを増やすとともに、宿泊施設の多様化や魅力向上を進めていく必要がある。観光客1人あたりの消費単価は6,280円(去年は4,034円)と宿泊率がより高い観光地と比べて低く(例えば、京都市では、日帰り10,000円前後、宿泊55,000円前後)、経済活性化に資する観光振興を図るためにも、消費単価の向上を継続して進めていく必要がある。

(8)立ち寄り観光地点では、「蔵造りの町並み」「菓子屋横丁」「時の鐘」「川越氷川神社」「喜多院」など特定の地点に多くの人々が立ち寄っているが、「川越まつり会館」「川越城本丸御殿」「川越市立博物館」など川越の歴史等を伝える文化性の高い施設への立ち寄りが低迷しており、付加価値が高い”本物志向”の観光地を目指すとともに、周遊性の向上を図るため、入館促進に繋がる魅力向上、プロモーションを推進する必要がある。

分析担当:一般社団法人DMO川越

川越市観光アンケート調査報告書 2021年

令和4年3月

監修：川越市産業観光部観光課
作成：一般社団法人DMO川越



川越市産業観光部観光課
〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1
TEL 049-224-5940(直通)
FAX 049-224-8712